

## 島嶼研究の未来へ向けて：架橋する国際的若手研究 2021

琉球大学島嶼地域科学研究所は、この度若手研究者を対象とした国際的な研究大会を開催します。本大会は、島嶼地域を対象に最新の研究を行っている若手研究者および様々な現場で活躍している若手（アーティスト・専門家など）のネットワーキングを目的として企画された国際大会です。

**開催日**：2021年2月23日（火）

**時間**：10:00～17:00

**言語**：日本語・英語

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、Zoomにて開催いたします。事前予約制です。下記の参加フォームよりお申込みください。

参加申し込みフォーム：<https://forms.gle/gJuq2tLTEAfLbGax7>

【基調講演】10:00～11:30（通訳あり）

**ウエウンテン ウェスリー教授**（サンフランシスコ州立大学）

### ディアスポラは唄うことができるか？

—ディアスポリックな時空間における「ていんさぐぬ花」—

【個別報告】

セッション A（13:00～14:30）

《ルーム①：コミュニティ／軍事と環境／歴史清算》 司会：岩間・ダニエル

Oshiro Akino (Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg) 英語報告

「Farm to Base: Mobilization of Local Population for Military Work in U.S. Occupied Okinawa」

土井 智義 (日本学術振興会・特別研究員 (東京大学)) 英語報告

「Forgetting the Creation of "National Subject" in Postwar Okinawa : From an "Alien" Perspective」

《ルーム②：防災／コミュニティ》 司会：前田勇樹

比嘉 吉志 (琉球大学大学院／日本学術振興会特別研究員 DC2) 日本語報告

「近世後期の琉球における下知役と間切・村の地域性—家譜資料に所収された褒賞記事の分析を中心に—」

山城 彰子 (名桜大学大学院博士後期課程) 日本語報告

「近世琉球の家譜資料における側室的位置づけを与えられる女性—妾・側室—」

セッション B（14:45～16:15）

《ルーム①：コミュニティ／軍事と環境》 司会：森啓輔

Matthew Topping (琉球大学人文社会科学部比較地域文化専攻) 英語報告

「Endangered Language Revitalization in Ishigaki under a PAR Framework」

チャンディッタウォン・タナパット (琉球大学人文社会学部客員研究員) 日本語報告

「国民国家の周辺地域の住民意識における首都・本土との距離感—タイ深南部三県と沖縄の事例から—」

《ルーム② 歴史清算／保健》 司会：土井智義

佐久本佳奈 (一橋大学大学院) 日本語報告

「ハンセン病文学における沖縄戦と米軍占領の記憶」

松田潤 (一橋大学大学院言語社会研究科韓国学研究所 PD) 日本語報告

「主権を攪乱する統治—近現代沖縄における統治性—」